MYSTERYDOKUSHOANNAIMYSTERYDOKUSHOANNAIMYS

ミステリ読書案内

２０２３．４．２７　発行元
第 471 号　伊藤　剛
https://mystery-dokuan.com

MYSTERYDOKUSHOANNAIMYSTERYDOKUSHOANNAIMYS

動物ミステリあれこれ

以前にも「動物ミステリ」を取り上げてきているが、再度３冊を取り上げてみることにする。動物をテーマにしたミステリはシリアスなものから動物が話す形のユーモアものまでさまざまな形式で書かれている。

『ファーブル昆虫記』と『シートン動物記』

私の小学校の頃の愛読書のひとつに『ファーブル昆虫記』がある。繰り返し読んだ懐かしい本。理科の研究を考えた時、その手法には学ぶことが多かった。日本ではあまり馴染みのない昆虫の話もあったけれども…。私の「理科好き人間」のスタートに結び付いていることは間違いないと思う。

『シートン動物記』も繰り返し読んだが、回数は『ファーブル』の方がずっと多い。『シートン』の方は物語性に重点が置かれているような気がした。ミステリという形式にに結び付きやすいのは『シートン』の方だと思う。

以前にも書いたように『動物ミステリ』は比較的取り上げられやすいテーマで「猫」絡みなどは次々新作も出ているようだ。ただ、トリックに関連した扱いの作品はそんなにも多くないかもしれない。

東川篤哉『うまたん』

昨年６月にＰＨＰから出た本。私の住んでいる市の８つの図書館のほとんどに本書が入っている。ミステリとしての仕上がりが断然上だと思う『仕掛島』より本書の方が図書館司書さんたちの選定の目に留まるものらしい。楽しく読める本であることは間違いないのだが…。『文藏』などに連載したものを集めた短編集。

千葉県房総半島にある県立高校に通う牧陽子が主人公の役。酪農家なので馬に慣れている。朝の登校途中で清水乗馬倶楽部のロックという馬と出会う。逃げ出した風にも見える。陽子はヒラリとまたがったけれども、ロックが勝手に山道を進み死体に案内されてしまう。死体の発見者となった陽子は…。ここで登場するのが関西弁をしゃべる栗毛の馬・ルイス。ルイスの話しかける言葉は陽子にしか聞き取れない。ルイスは捜査のヒントをつぶやき、陽子はそれを中園巡査に伝える流れに。ルイスは陽子のことを「マキバ子ちゃん」と呼ぶ。(牧陽子を「マキバ子」と勘違いして読んでいるらしい)　こうして『馬の耳に殺人』からスタートして、『馬も歩けば馬券に当たる』…と名探偵馬・ルイスの「大穴推理」が展開していく。東川ミステリ得意の軽妙な会話が楽しめる。

大倉崇裕『小鳥を愛した容疑者』

２０１０年講談社。『メフィスト』に連載した４編を集めた短編集。最初は『警視庁総務部総務課動植物管理係』だったのだが、シリーズの後の方になっていくと『警視庁いきもの係』という呼び名になっていく。本書の後、『蜂に魅かれた容疑者』『ペンギンを愛した容疑者』『クジャクを愛した容疑者』『アロワナを愛した容疑者』『ゾウの魅かれた容疑者』と続いていく。

警視庁の捜査一課で活躍していた須藤友三はある事件で銃撃を受け大怪我を負った。復帰後回されたのが総務部の閑職。新しく設置されたばかりの動植物管理課。リハビリを…という意味なのだろうが。一緒に活動するのは薄圭子巡査。彼女は大学の獣医学部卒の動物ヲタクの専門家。持っている知識量がすごい。最初の仕事は容疑者宅に残された百羽のジュウシマツの管理。犯罪絡みの引き取り手のないペットの世話が担当なのだが、動物の様子からさまざまな推理が生まれ、知らず知らずの内に犯人に肉迫することに…。ジュウシマツの後は、蛇、カメ、フクロウと事件に巻き込まれていく。この部署は本来ヒマなはずなのでは…。

柳広司『シートン(探偵)動物記』

２００６年光文社刊。その後文春文庫に収録された時には『シートン探偵記』の題名になっている。『ジャーロ』に連載されたものに書下ろしを加えた短編集。『シートン動物記』を土台にしているので、それを読んでいた方が理解が進むと思う。

巻頭は『カランボーの悪魔』。「狼王ロボ」を題材にしたもの。八十歳になったシートンが新聞記者に昔を思い出して物語るという形式になっている。シートンが三十二歳の時、フランスからアメリカに戻る船の中。ニューメキシコで牧場を経営しているフィッツランドルフ氏からオオカミを追い払う仕事を依頼される。シートンはフィッツランドルフ氏の考え方に賛成は出来なかったものの、オオカミの生態を観察できることに興味を持って一緒に行くことに同意する。「悪魔の化身」と呼ばれる一匹の巨大な灰色オオカミ。果たしてこのオオカミは人間を襲うのかという？　牧場に着くとオオカミの遠吠えのような声が聞こえ、やがてボブ爺さんと呼ばれていた老人が喉に傷を負って倒れていたところを発見された。人々はオオカミが襲ったのだと口々に言うが…。シートンは足跡や盗っていったと思われる革袋などを綿密に観察する。そして出した結論は……。